



上越市における平成20年度麻疹風しん対策について

上越市こども福祉課

はじめに

国の「麻疹排除計画」を受け、当市でも麻疹排除に向け関係機関と連携し、麻疹風しん予防接種率の向上に努めている。特に3期・4期については、学校と接種勧奨のタイミングを合わせ個別通知をし、勧奨回数を増やして現在も接種勧奨を継続している。その結果、第3期(対象者2,023人)は20年9月末81.3%、21年2月末89.7%、第4期(対象者2,168人)は20年9月末75.6%、21年2月末86.0%と、比較的高い接種率を得られたので報告する。

1. 上越市における麻疹排除計画

「平成19年9月27日付厚生労働省通知の実施主体における事前準備について」に基づいて計画を策定した。

項目	内容	実施時期
予防接種台帳の整備 接種対象者の確実な把握	(1) 住民基本台帳からの対象者把握 (2) 接種者への周知	平成20年4月
周知及び啓発	(1) 接種者への個人通知 (2) 広報・ホームページ等 (3) 教育委員会との連携	平成20年4月～
ワクチン確保状況の管理	委託医療機関との連携	
ワクチン接種状況の把握	委託医療機関からの接種券による接種者の把握 システムによる接種者管理	
未接種者対策	市、教育委員会、医療機関等、関係機関との連携による実施	平成20年6月
医療機関との調整	個別接種で検討、医師会へ正式依頼 個別接種委託医療機関確認 委託医療機関との正式契約	平成19年7月～ 平成20年2月 平成20年4月
予算要求	第3期・4期共に個別接種で予算要求	平成19年10月
関係機関との調整	学校教育課(指導主事) 市内小・中学校養護教諭との会議 養護学校(高田・上越) 附属小・中学校、中高一貫校	平成20年2月
	高等学校養護教諭	平成20年3月
20年度QアンドA作成		平成20年3月
関係機関協力依頼	学校養護教諭へ協力依頼 学校教育課にて勧奨スケジュール作成	平成20年4月～
	委託医療機関へ協力依頼	
未接種者対策	未接種者に、再度個人通知	平成20年7月 平成20年12月 平成21年2月

2. 麻しん対策の概要

(1) 接種対象者の把握

- ・住民基本台帳からの対象者把握

(2) 接種方式 個別接種

- ・委託医療機関での個別接種で実施

(3) 周知および啓発・未接種者対策

- ・出生届け時に保護者へ予防接種スケジュールを説明
- ・乳幼児健診にて接種歴の確認および接種勧奨
- ・対象者および未接種者への個人通知

	対象者個人通知	未接種者対策1回目	2回目	3回目
1期	9か月児健診の個人通知に合わせて周知(毎月)	未接種者へ個人通知(21年1月20日付)		
2期	4月中旬に個人通知	未接種者へ個人通知(12月15日付)		
3期	対象者全員へ個人通知(4月1日付)	未接種者へ個人通知(7月16日付)	未接種者へ個人通知(12月8日付)	未接種者へ個人通知(21年2月20日付)
4期				

- ・保護者あて文書の工夫(夏期および冬期休暇前の未接種者への周知、接種時期を過ぎると自費での接種となること、就職や進学に接種歴が必要になる場合があることなど、啓発を含めて案内)
 - ・保育園、幼稚園、学校、医療機関との連携による未接種者対策および市独自ポスターなどの掲示による啓発の徹底
 - ・広報じょうえつでの啓発(毎月)および3・4期の啓発掲載(8月)市ホームページへの掲載
- (4) 接種者管理(医療機関からの接種券による接種者と未接種者の把握、月毎の接種率確認)
- (5) 医療機関との調整および協力依頼
- ・個別接種での実施依頼および委託医療機関の確認、契約
 - ・夏休み及び冬休み期間は、医療機関の受け入れ時間を拡大
 - ・子ども予防接種週間のPR(2月の未接種者個別通知に同封して周知)
- (6) 予算要求(未接種者対策のための郵送代等)
- (7) 関係機関との調整および協力依頼
- ・学校教育課との協議
 - ・上越市立保育園での啓発依頼(園長会5月、9月、21年1月で周知)
 - ・市内小中学校、養護学校、附属小中学校の養護教諭との会議
 - ・上越市内および近郊(私立、糸魚川、新井、国際情報高校など含む)の高等学校養護教諭への協力依頼

3. 中学校における麻しん対策(学校教育課と子ども福祉課とのタイアップによる予防接種の接種勧奨)

- ・県教育庁保健体育課からの調査依頼を受けて保護者あて予防接種状況調査(7月中旬、9月下旬、12月下旬)
- ・未接種者の把握(学校ごとの接種率報告)と接種勧奨

- ・ こども福祉課からの情報を適宜中学校へ提供
- ・ 保護者宛の文書例の作成(教育委員会名)
- ・ 未接種者(家庭)への個別指導
- ・ 研修会等で指導、情報提供
- ・ 教育委員会および中学校の接種勧奨スケジュール

実施時期	実施内容
4～6月	保健調査票での予防接種歴の確認
7月中旬	接種状況調査（罹患、接種予定の把握、接種勧奨）、学校別接種率の集計
9月下旬	未接種者への接種勧奨（夏休み後）
12月下旬	接種状況調査（罹患、接種予定の把握）、学校別接種率の集計

4. 今後の課題と21年度の対策にむけて

平成20年度接種者数の推移は、4月当初の周知後と夏休み前の周知後が接種者数が多い傾向にあった。対象者への周知時期と、学校からの接種勧奨のタイミングをあわせたことと、対象者が受けやすいよう、医療機関の受け入れ時間枠を拡大する等の配慮を実施することで、効果をあげたのではないかと考えられる。

しかし、残念ながら麻しん排除の目標とされる接種率95%は達成が見込めず、未接種者へのさらなる啓発、接種勧奨の工夫が求められている。今後は、大学や企業などにも広く協力を依頼し、より多くの関係機関との連携を密にし、タイミングを合わせた接種勧奨を継続していきたいと考える。